

# 道徳授業地区公開講座 5月10日（土）

5月10日、全学年対象に「生命の尊さについて、その連續性や有限性なども含めて理解し、かけがえのない生命を尊重すること」を共通主題に設定し、道徳の授業を行いました。それぞれの学年が命の尊さについて考え、真剣に向き合っていました。

どの学年のフロアもたくさんの保護者が参観されていて、生徒一人一人が自分なりの考えをもち、考えを深めようとする取組みを熱心にご覧になっていました。

道徳の授業後は、教員・保護者・地域の方が体育館格技室に集まり、学年別の3グループになって、道徳教育について意見を交換しました。



こんな意見が出ました！（意見交換会より 保護者・地域の方々のご意見）

## 【1学年】 資料名：ひまわり（きみが いちばん ひかるとき1）

「死や生をテーマにした道徳の授業が1回限りで終わることなく、3年間じっくりと考えていくテーマになって欲しい。」

「子どもたちが実際に体験したことのない東日本大震災を扱ったテーマで、家庭でも話し合うことがなかったテーマだが、よく取組んでいた。」

## 【2学年】 資料名：泣きすぎではいけない（きみが いちばん ひかるとき2）

「道徳の授業を通じて心を豊かにする機会になってほしい。」

「生きることは悲しみだけじゃないということが伝わってきた授業だった。」

「授業の中で意見交換の場があり、子どもたちがいろいろな考えに触れられたことが良かった。」

## 【3学年】 資料名：「リクエスト食」に込められた思い（きみが いちばん ひかるとき3）

「テーマについて子どもたちが話し合う姿を見て、これからもお互いに支え合い、今後の進路のことも乗り越えていけるクラスだと感じた。」

「大人にとっても難しいテーマに取り組んでいた。食事を提供する側もどのように命に向かえば良いのか考える場になった。」

# 学年種目発表会 6月6日（金）

第48回運動会が雨天のため中止となったことを受けて、6月6日の午後、運動会の一部の学年種目が行われました。学年種目の内容は、各学年の全員リレー、1年生のいかだ流し、2年生の百足、3年生の大縄跳びでした。天候にも恵まれ気温が上昇する校庭で、生徒たちはそれにも増しての熱い取組みを披露してくれました。運動会が行えなかつたことは残念でしたが、クラスでも学年でも、そして学校全体でも運動会に向けて一丸となって取組むという目標は達成できました。

